

SOS ニュース

平成 26 年度・新入社員の特徴

～新入社員のタイプは「自動ブレーキ型」～

公益財団法人日本生産性本部の「職業のあり方研究会」は平成 26 年度の新入社員の特徴をまとめた。「職業のあり方研究会」は、若年者の就労支援、教育の専門家等で構成され、多くの企業・学校等の就職・採用関係者の協力を得ながら、その年の新卒入社の特徴就職・採用環境の動向などについて調査研究している。

「自動ブレーキ型」というのは、知識豊富で敏感。就職活動も手堅く進め、そこそこの内定を得ると、壁にぶつかる前に活動を終了。何事も安全運転の傾向がある。人を傷つけない安心感はあるが、どこか馬力不足との声も。どんな環境でも自在に運転できるようになるには、高感度センサーを活用した開発(指導・育成)が必要である。

車もかつては野性的なパワーを競ったものだが、昨今は、エコロジーと洗練された自動制御能力がセールスポイントになっている。しかし、上の世代からすればいささか物足りない印象を持つようだ。新入社員についても、失敗を恐れずに「当たって砕けろ」の精神でパワー全開、突っ走って欲しいとの声もある。…… 一方で、会社に出てこれなかったり、社会的な(常識)マナーが欠如した「自動ブレーキ型」以前の新入社員の相談も目立っています。